

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 1 日

仕事の内容	産業まつり(商工部門)補助事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 工業の進行、商業の振興	施策番号	3 - 4	3 - 5
	総合計画書 (ページ)	75	78

予算名	款 7	商工費	項 1	商工費	目 2	商工振興費	事業 1	商工振興対策事業費
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市産業まつり(商工部門)実行委員会	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 11月1日現在の市民総数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] まつりを通じ、市内商工業の振興やPRを図る	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 来場者数/市民総数
	③ そのために何をしましたか。 東大和市産業まつりを実施するにあたり、産業まつり(商工部門)実行委員会に補助金を支出した。また、市ホームページや市報等で産業まつりに関する情報を掲示することで、イベントについて周知を図った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 当日の来場者数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,973	85,876	85,543	/
	成果指標	②の数値	%	48	50	48	/
	目 標	②の目標値	%	/	50	55	/
		目標値設定の考え方 来場者に対して、市内商工業事業者の幅広い周知を図る一つの指標とした。					
活動指標	③の数値	人	41,000	43,000	41,000	/	

3 経費	事業費(実績)		円	1,600,000	1,600,000	1,600,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,600,000	1,600,000	1,600,000	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	4,080,100	4,075,900	4,073,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和46年において市主催により第1回産業祭を開催。平成9年から現在の実行委員会方式での開催となり、産業まつりを通して市内商工業のPR及び振興を図ることを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 市内及び周辺地域への大規模商業施設の出店、工業地域からの工場撤退、大型マンションの建設等の環境変化により、引き続き市内中小商店や工場の経営は厳しい状況にある。

仕 事 の 内 容	産業まつり(商工部門)補助事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見
この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
産業まつりは長期にわたり継続的に実施しており、市民が楽しみにしている大きなイベントとなっている。イベント当日の模擬店において、商業部門は比較的多く出店しているが、工業部門については展示や相談会等により、PRを実施している。また、平成29年度からは会場の賑わいを創出するため、会場の様々な場所を活用して大道芸を実施し来場者を楽しませており、継続して行った平成30年度も、内容の充実が図れたとの声が聞かれた。

6 市民協働
(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)

取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
--------	------	---

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点

7 課題
(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
毎年、開催日が土曜開庁と重なっているため、来庁者駐車場については、数台確保しているが確保する台数及び確保する場所については、再検討する必要がある。
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
実行委員会に上述した問題点を伝え、改善を促してはいるが、具体的解決策は講じられてはいない。
(3)(2)を踏まえた今後の課題
今後も、実施会場の検討も含め、来庁者及び来場者並びに出店者側の最適な会場運営については検討していく必要がある。

8 今後の方向性
(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など
平成31年度については、実行委員会による日時や会場等についての決定はまだないが、昨年と同様の会場になった場合は、土曜開庁時の来庁者駐車場の数については適切な数を検討し、確保に努めたい。
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
実行委員会と連携強化を図り、必要な調整を各関係部署と取りながら、来庁者及び来場者に対して混乱が起きないよう準備を進める。また、平成31年度については東やまと産業まつりが50周年を迎えることから、周年事業を行う予定なので、例年以上に会場含めて全体の調整を図っていきたい。
(3)改革・改善案による期待成果
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------